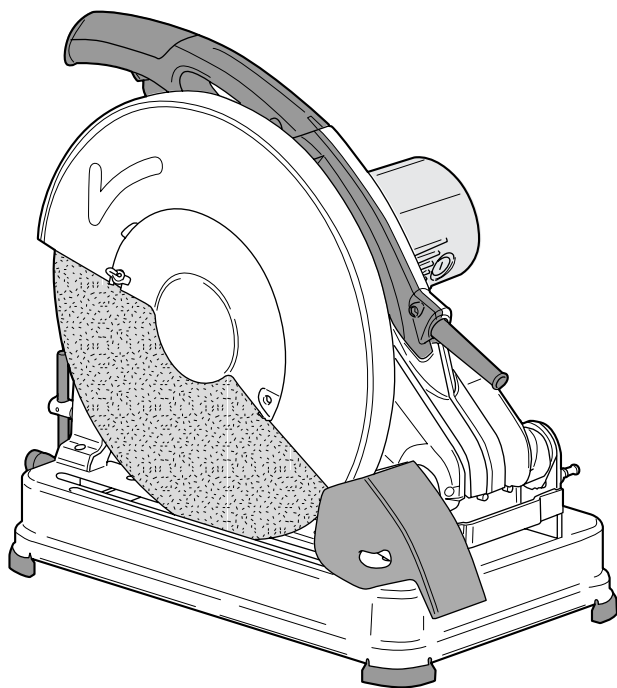


RYOBI 切断機

C-3550

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	1~ 6
各部の名称・仕様	7
最大切断能力	8
付属品・用途	8
操作方法	9 ~ 14
切断作業	15
保守と点検	16~ 17



このたびは、リョービ切断機をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

警告

6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のものがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

警告

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

警告

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申しつけください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

切断機ご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、切断機をご使用の際には、さらにつきに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. セフティカバー・カバーは、必ず取付けて使用してください。
 - ・砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 使用する切断砥石は、最高使用周速度71 m/s以上の正規の砥石を取付け、正しい使用面で切断してください。側面を使用しないでください。
 - ・正規以外の砥石を使用したり、また側面を使用すると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
4. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・異常があると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
5. 水、研削液などは使用しないでください。
 - ・乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
6. 使用中は、工具類（砥石など）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
7. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは、安全な場所に遠ざけてください。
 - また、切断火花を直接手足などに当てないようにしてください。
 - ・火災や、やけどの原因になります。
8. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（砥石など）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. 【事業者の方へ】砥石の取換え、試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令 労働安全衛生規則 第36条
安全衛生特別教育規程 第2条

⚠ 注意

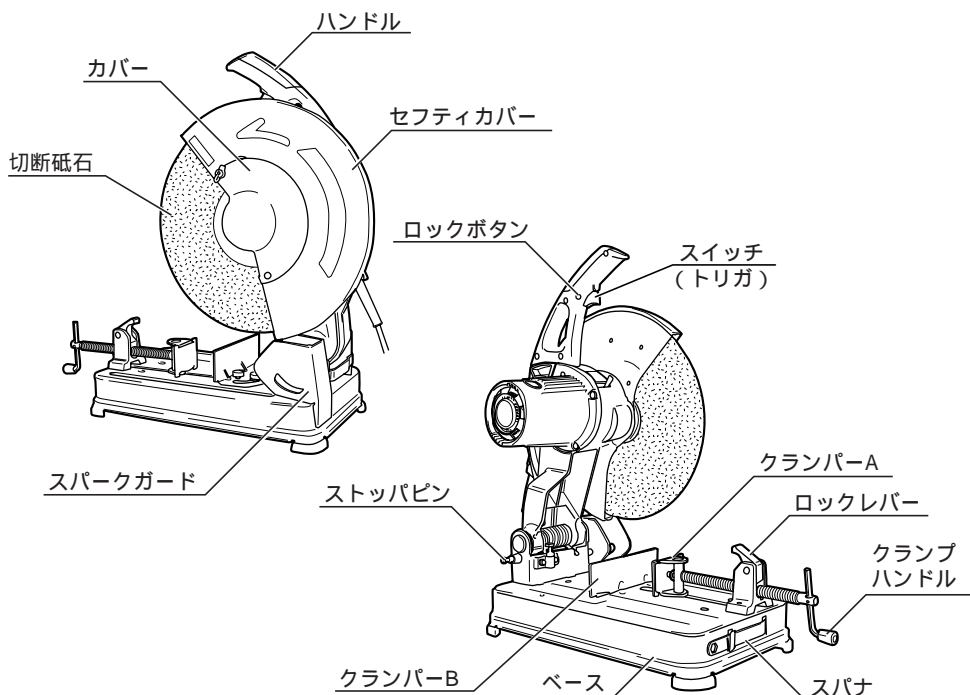
- 傾斜のない平たんな場所に据付けて、安定した状態にしてください。
 - 不安定な状態では、作業中、材料が動いて砥石が破壊し、けがの原因になります。
- 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実に取付けないと、外れたりし、けがの原因になります。
- 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
 - 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
- 試運転を励行してください。
 - 試運転時間は 砥石交換のとき..... 3分間以上
その日の作業始めのとき..... 1分間以上 です。
 - 試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - また、コードを引っかけたりしないでください。
 - 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- 切断材は確実に固定してください。
 - 固定が不十分な場合、砥石が破壊したり、材料が飛びけがの原因になります。
- 指定以外の刃物（丸ノコ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。
 - 丸ノコとしての保護装置がなく、けがの原因になります。
- 切断直後の材料は、高温になっているので触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- 切断砥石は、水分や湿気のない乾燥した場所に保管してください。
 - 水分や湿気によって強度が低下し、砥石破壊の原因になります。
- 回転させたまま、放置しないでください。
 - けがの原因になります。

（注）延長コードは、できるだけ太く短い工業用のキャブタイヤコードを使用してください。長すぎる延長コードの使用は、電圧降下となり、機械が十分な性能を発揮しないだけでなく、モーター焼けの原因にもなります。ドラム式の延長コードを使用する場合は、コードをすべて引出して使用してください。発熱による電圧降下や火災事故の原因となります。

導体公称断面積	使用できる最大長さ
2mm ²	15m
3.5mm ²	30m

各部の名称・仕様

各部の名称







仕様

- ・電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・電流 15A
- ・消費電力 1,450W
- ・無負荷回転数 (no)3,500min⁻¹
- ・砥石径 (外径×内径) 355×25.4mm (注)
- ・機体寸法 (長さ×幅×高さ) 580×285×640mm (開放時)
..... 520×285×405mm (収納時)
- ・コード長さ 2.5m
- ・質量 17.5kg
- ・絶縁方式 二重絶縁

(注) 使用可能な砥石の厚みは4.5mm以下です。

最大切断能力・付属品・用途

最大切断能力

					
90°	45°	90°	45°	90°	45°
120 ϕ	100 ϕ	150×80mm 180×80mm	100×90mm	110×110mm	90×90mm

印はクランパーBを後へ移動させた時の切断能力

付属品

- ・切断砥石（外径355mm×内径25.4mm）..... 1
- ・スパナ 13mm×17mm（本体収納）..... 1

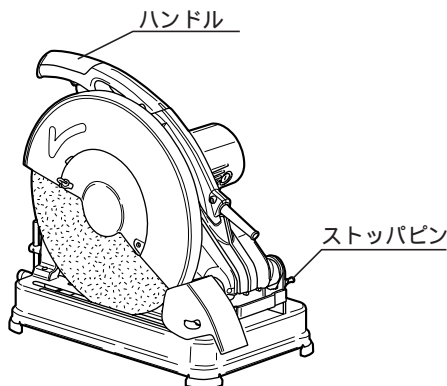
用途

- ・鉄パイプ、アングル、軽量鉄骨などの切断

操作方法

ストッパピン

- ・本機には運搬、収納時にハンドルを固定するためのストッパピンがついています。出荷時には、ストッパピンでハンドルを固定してあります。
- ・ハンドルを少し下げ、ストッパピンを引出すと固定が解除されます。ハンドルを固定するときは、ハンドルを下げ、ストッパピンを押し込みます。

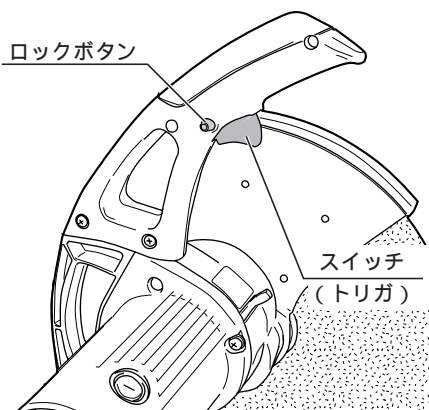


スイッチの扱い方

⚠ 警告

- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- ・スイッチは引き金方式です。トリガを引くと入り、離すと切れます。
- ・連続使用の場合、トリガを引いた状態で握り部側面にあるロックボタンを押すと、トリガから指を離してもスイッチは入ったままになります。解除は、再度トリガを引いてロックボタンを戻し、トリガから指を離してください。スイッチが切れます。

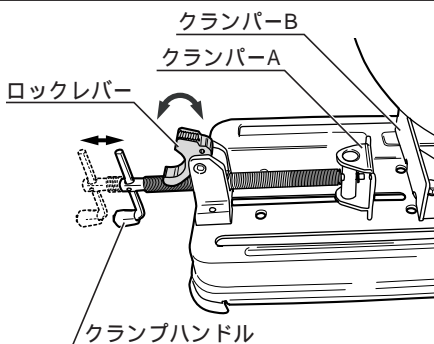


材料の固定方法

⚠ 警告

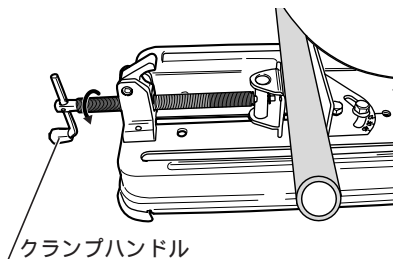
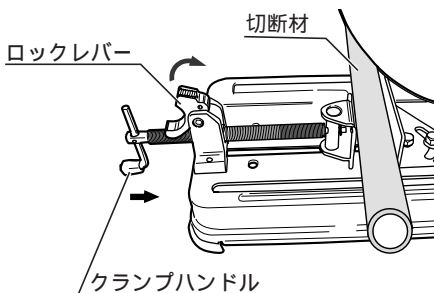
- ・切断材の固定、取除きは、スイッチを切って砥石が停止してから行なってください。砥石回転中に行なうと、けがの原因になります。
- ・切断材は確実に固定してください。使用中、切断材が動くと、砥石を破壊したり、材料が飛び、けがの原因になります。

- ・クランプハンドルを左に回すとパイプがゆるみ、ロックレバーを倒してクランプハンドルを前後に動かすとクランプAが自由に移動します。



(切断材の固定)

1. クランプA、Bの間に切断材を置きます。
2. クランプハンドルを押してクランプA、Bで切断材を挟みます。
3. ロックレバーを矢印方向に起こします。
4. クランプハンドルを右に回して締付けます。

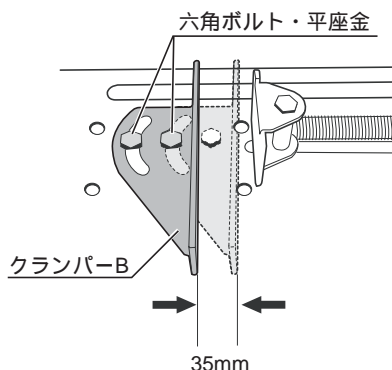


操作方法

クランパーBの移動

- 幅の広い材料を切断するときは、クランパーBを右図のように移動して使用することができます。

付属品のスパナ（17mm）で2本の六角ボルト・平座金をゆるめて外し、クランパーBを移動します。移動後は2本の六角ボルトを十分締付け、クランパーBを固定してください。切断材料に合わせて移動してください。

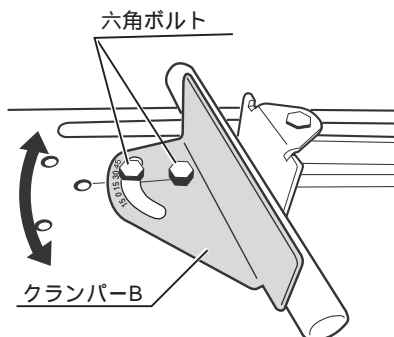


切断角度の調整

⚠ 注意

- 角度調整後、六角ボルトは十分締付けてください。材料が不安定となり、けがの原因になります。

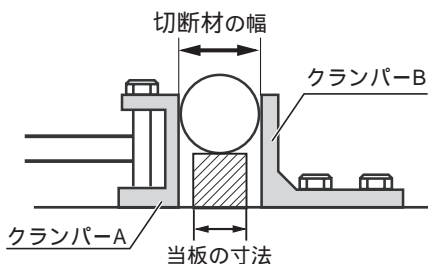
- 付属品のスパナ(17mm)で2本の六角ボルトをゆるめます。
 - クランパーBを動かして任意の角度に合わせます。（目盛表示は15°毎です）
 - 角度を合わせたら2本の六角ボルトを十分締付けてください。
- 右0～45°、左0～15°までの角度切りが可能です。



当板の使用

- 切断砥石が小さくなった場合は、右図のように切断材の寸法よりすこし小さめの当板をクランパーA,Bの間に入れて使用すると経済的に砥石を使用することができます。

（注）切断材を確実に固定できない大きさの当板は絶対に使用しないでください。当板は、砥石を下げたときに砥石に当たらないように置いてください。

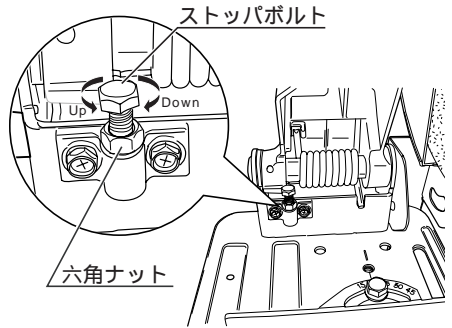


切込ストップについて

- ・本機には、切断作業時に切込みすぎて砥石が地面に接触しないように、切込ストップがあります。
- ・砥石が摩耗して径が小さくなり切り残しが出来る場合、切込ストップの高さを調節することにより切り残しをなくすことができます。
- ・切込ストップの高さは、付属品のスパナ（13mm）で六角ナットをゆるめて、ストップボルトを回して調整します。調節後は六角ナットを締付けてストップボルトを固定してください。

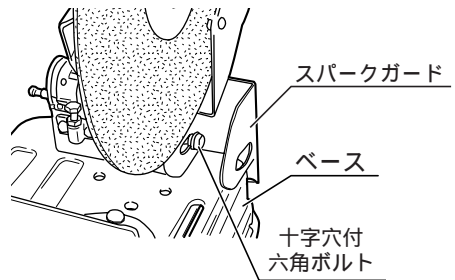
（注）切断する材料の形状により、ストップの高さ調節をしても切残しが出来る場合があります。

（注）切込ストップを調節した場合は、砥石交換時には切込ストップの高さを再調整してください。



スパークガードの調整

- ・スパークガードはベースに対して垂直に立てた状態で出荷しています。そのまま使用すると火花の飛散が作業側へ多くなりますので、付属品のスパナ（13mm）で六角ボルトをゆるめ、作業に応じて角度調整を行なってください。
- ・火花の飛散が前方側で影響がなければ、スパークガードの角度は45°程度が最適です。
- ・調整後は、六角ボルトを十分締付けてください。



操作方法

切断砥石の交換

⚠ 警告

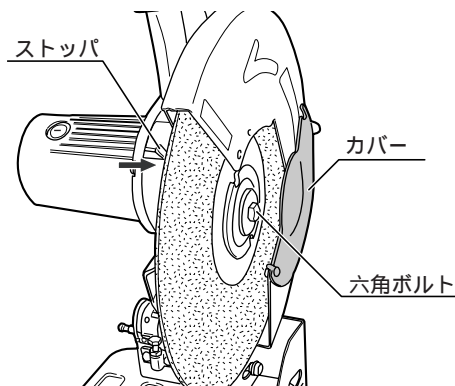
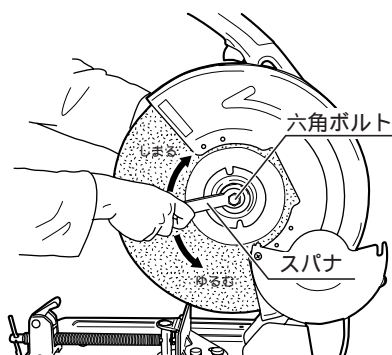
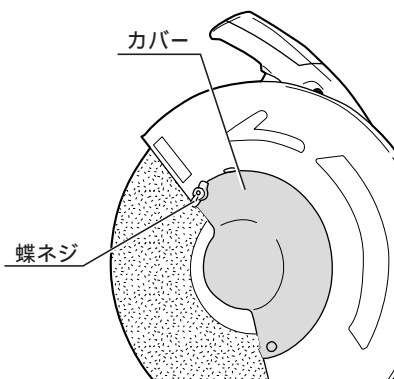
- ・切断砥石の交換のときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

- ・砥石交換時は、3分間以上の試運転をしてください。試運転をせずに作業を開始すると思わぬけがの原因になります。

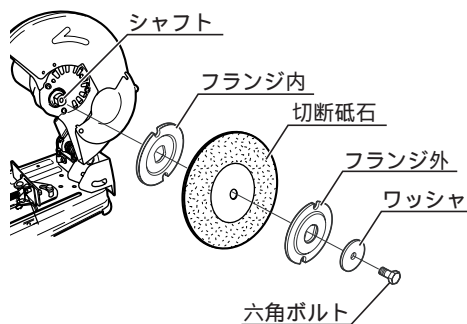
(取外し)

- ・蝶ネジをゆるめてカバーを開きます。
- ・付属品のスパナ（17mm）を六角ボルトに掛け、左手でストップを矢印方向へ押しながら、六角ボルトをゆっくり回すとストップが押込まれ切断砥石がロックされます。
- ・この状態で、スパナを回して六角ボルトをゆるめます。
- ・六角ボルト、ワッシャ、フランジ外、砥石の順で取外します。



(取付け)

- ・シャフト、内フランジなどについている切り屑をきれいに取除きます。
- ・取付けは取外しの逆の要領で行ないます。シャフトにフランジ内 砥石 フランジ外 ワッシャ 六角ボルトの順に取付け、六角ボルトを十分締付けてください。
- ・砥石交換後は、カバーを戻し、蝶ボルトで確実に固定してください。



- (注) 取付け後はストoppaをはなし、砥石のロックが解除されていることを確認してください。

切断作業

⚠ 警告

- ・砥石は砥石に表示されている最高使用周速度に注意し、機械に明示してある周速度以上の補強繊維入り切断砥石を使用してください。正規以外の砥石を使用しますと、砥石が破壊し、けがの原因になります。
- ・砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
- ・研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。火災ややけどの原因になります。

⚠ 注意

- ・作業中は保護めがね、マスク、耳栓などを着用してください。切削粉が目などに入り、けがの原因になります。
- ・切断直後の材料は高温になっていますので、注意してください。素手で触れますとやけどなどの原因になります。

- ・スイッチを入れ、フル回転になってから静かに砥石を切断材に当てて切断をはじめます。
- ・無理に押しつけてもモーターに負担がかかり、速い切断はできません。切削火花が最も多く出るところでの切断が最良です。

使用電源について

- ・本機には強力モーターを搭載しておりますので、使用の際に過電流のためブレーカーが落ちることがあります。
ブレーカーが落ちる場合には、下記の点に注意してください。
1. 他の電気機器とは別の専用の電源を使用してください。
 2. モーターの回転が落ちる場合、負荷のかけすぎです。負荷をかけすぎないようにして使用してください。
 3. 細い延長コードや長すぎる延長コードは使用しないでください。（P6 参照）

保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

砥石の交換

- ・摩耗した砥石を使用すると能率が悪いばかりか、モーターに無理な力をかけることになります。早めに交換してください。

各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

使用後の手入れ

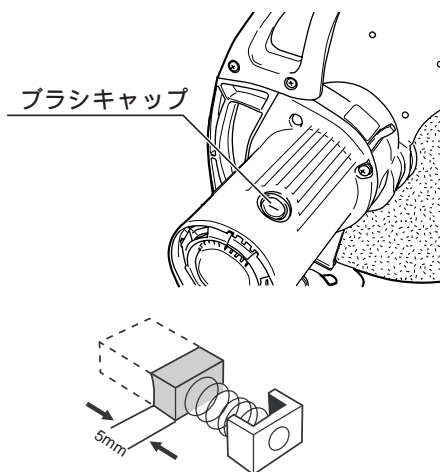
- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や、落下の恐れがあるところは避けてください。

カーボンブラシについて

- ・カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは残り5mm程度までに摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
- ・カーボンブラシの交換は、-ドライブでブラシキャップを外して行なってください。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。この時、カーボンブラシがブラシホルダ内でスムーズに動くことを確認してください。



保守と点検

修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明の点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

NOTE

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141